

7月20日(木) 18:30~

会場：静岡県評会議室



第122回定例研究会

だれでも参加できます

韓国における

文在寅政権の誕生とその意義

報告：安周永氏（常葉大学 講師）

これからの企画

◆第9回定期総会と記念事業

・日時…8月5日(土) 午後1:00~

・場所…静岡県産業経済会館

「最賃1500円運動の根拠と射程」

後藤道夫 氏

(都留文科大学名誉教授)

(現場からの報告)

「エキタスの活動」栗原耕平 氏

◆第123回定例研究会

・日時…9月21日(木) 午後6:30~

「安倍「働き方改革」に対する批判」

加茂大樹 氏 (弁護士)

二回目の政権奪還は成功するか

韓国においては、朴槿恵大統領が弾劾され、初めて大統領の補欠選挙が行われた。選挙の結果、「ともに民主党」の文在寅（ムン・ジェイン）が当選し、再び政権交代が生じた。「ともに民主党」は、進歩（リベラル）政党で、今回の勝利で二回目の政権交代を果たした。「ともに民主党」は、保守勢力が強いとされていた韓国政治において、一度は政権を取ったものの、失敗に終わり、低迷していた。にもかかわらず、なぜ再び政権交代を果たしたのか。また、前回の政権奪還と異なり、二回目の政権奪還は成功と評価される結果を残せるのか。本報告では、これらの点について、低迷している日本の民進党との比較の視点から分析する。